

日本海側の海洋エネルギー資源の開発促進に向けて 「日本海海洋資源フォーラム in 京都」を開催します

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合と京都府が主催し、海洋エネルギー資源として注目されているメタンハイドレートに関するフォーラムを、開催します。

事前申込制
参加費 **無料**

日本海海洋資源フォーラム **in** 京都

日時 平成27年9月9日(水) **会場** ホテルグランヴィア京都
14:40▶▶▶16:40 (受付 14:00~) 5階 古今の間 (京都市下京区烏丸通塩小路下ル)

14:40 ~ メタンハイドレート採掘技術アイデアコンテスト表彰式

- (1) 表彰式 (最優秀賞)
- (2) 最優秀作品発表

15:10 ~ 基調講演

講演者：経済産業省資源エネルギー庁
資源・燃料部 石油・天然ガス課長 定光 裕樹 氏

15:35 ~ 促進対話

日本海側の海洋エネルギー資源の開発を進めるための意見交換を実施

出席者
定光 裕樹 氏 (経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部 石油・天然ガス課長)
山田 啓二 (京都府知事・海洋エネルギー資源開発促進日本海連合 会長)
泉田 裕彦 (新潟県知事・海洋エネルギー資源開発促進日本海連合 事務局長)
日本海連合構成府県知事
(予定) 青山 繁晴 氏 (株式会社独立総合研究所 社長) オブザーバー参加

16:00 ~ 特別講演

講演者：京都大学名誉教授 おか ふ さ お 岡 二三生 氏
演 題：「メタンハイドレート開発と地盤」

主 催

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合、京都府
(秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県)

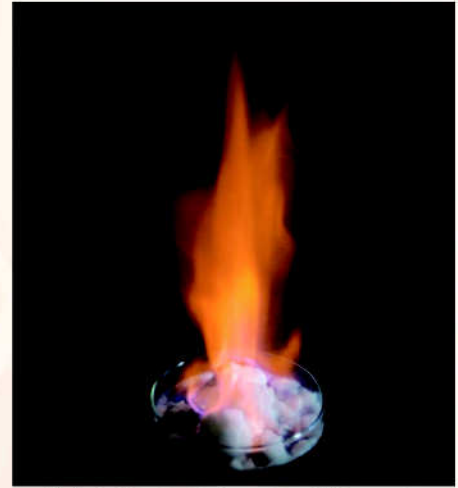
後 援 (予定)

京都商工会議所、公益社団法人 京都工業会、一般社団法人 京都産業エコ・エネルギー推進機構、NHK京都放送局、KBS京都、京都新聞

メタンハイドレートとは、

メタン（天然ガスの主成分）と水分子が低温・高圧状態で結晶化した氷状の固体物質です。低温・高圧状態でないと存在できないため、例えば、海底で採取したメタンハイドレートをそのまま引き上げてくると、途中で分解して（メタンと水に分離して）なくなってしまいます。メタンハイドレート中には大量のメタンが取り込まれ、1m³のメタンハイドレートが分解すると、160～170m³程度のメタンガスが発生します。

※本稿については、明治大学研究・知財戦略機構特任教授の松本良氏からご助言及び資料の提供を受けました。



「人工」のメタンハイドレート

出典：メタンハイドレート資源
開発研究コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合（会長：山田京都府知事）では、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸10府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合・・・平成24年9月8日に設立。秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県（10府県）から構成。

公式WEBサイト <http://www.nihonkairengou.jp/>

◆申し込み方法◆

- 先着100名様
- 下記①～④を記入し、下記連絡先あてに郵送、FAX又はE-mailで9月7日（月）までに事前申込
- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④学校名・会社名

担当：〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
京都府環境部エネルギー政策課

電話：075-414-4297
FAX：075-414-4705
E-mail energy@pref.kyoto.lg.jp

会場 ホテルグランヴィア京都 5階 古今の間
(京都市下京区烏丸通塩小路下ル)



申込書

「日本海海洋資源フォーラム in 京都」申し込み

氏名		電話番号	
住所		学校名又は会社名	

宛先：京都府環境部エネルギー政策課（FAX：075-414-4705）